

石部駅周辺地区の整備について 駅舎&駅前広場整備と併せて『都市構造再編集中支援事業』を実施予定 <都市再生整備計画を策定中>

※評価指標は変更になる場合があります。

1. 政策形成

総合計画

政策

西部都市ゾーンにおけるやすらぎの街づくり～石部の歴史薫るやすらぎの交流拠点づくり～

施策

- ・ 利便性の高い交通ネットワークの形成 ～誰もが利用しやすい交流結節点づくり～
- ・ 歴史文化を大切にするまちづくり ～歴史的観光資源を活かした観光交流の促進～

目標指標

指標名	基準値	目標値
	R1	R7
コミュニティバス乗客数	313,239人	315,500人



マスタープラン

方針

- ・ J R石部駅のバリアフリー改修整備の推進
- ・ 駅ロータリー周辺における環境整備の促進
- ・ 地域特性に応じた駅周辺のにぎわいの創出

評価指標

指標名	基準値	目標値
	R1	R10
旧東海道沿道観光施設「田楽茶屋」年間入込客数	1,971人	2,520人
「公共交通サービス（デマンド）」年間利用者数	14人	100人



事業

- ① 歩きたくなる歩道づくり
- ② 歴史や文化的な雰囲気が感じられる景観づくり
- ③ 観光資源やイベントとの連携
- ④ 質の高い緑豊かな顔となる市街地環境の創造
- ⑤ 利用しやすい駐車場・駐輪場の整備
- ⑥ 駅前パトロールや子供安全リーダー活動
- ⑦ プランターを用いた花の寄せ植え運動
- ⑧ 東海道の名所・旧跡、見所紹介
- ⑨ ふれあいまつりの実施・継続

2. 将来ビジョン

- ・ 第二次湖南市総合計画後期基本計画 (令和 3年4月) P42,44,58,108,109,208
- ・ 湖南市都市計画マスタープラン (令和 3年3月) P32,42,46,55,72
- ・ 湖南市景観計画 (令和 2年2月) P4,6,22
- ・ 湖南市立地適正化計画 (平成 29年3月) P92,103



都市構造再編集中支援事業<R5～R9年度予定> ※事業内容や時期は、関係機関との協議等により変更になる場合があります。



①誘導サイン設置事業



②舗装高質化事業



③観光案内板設置事業



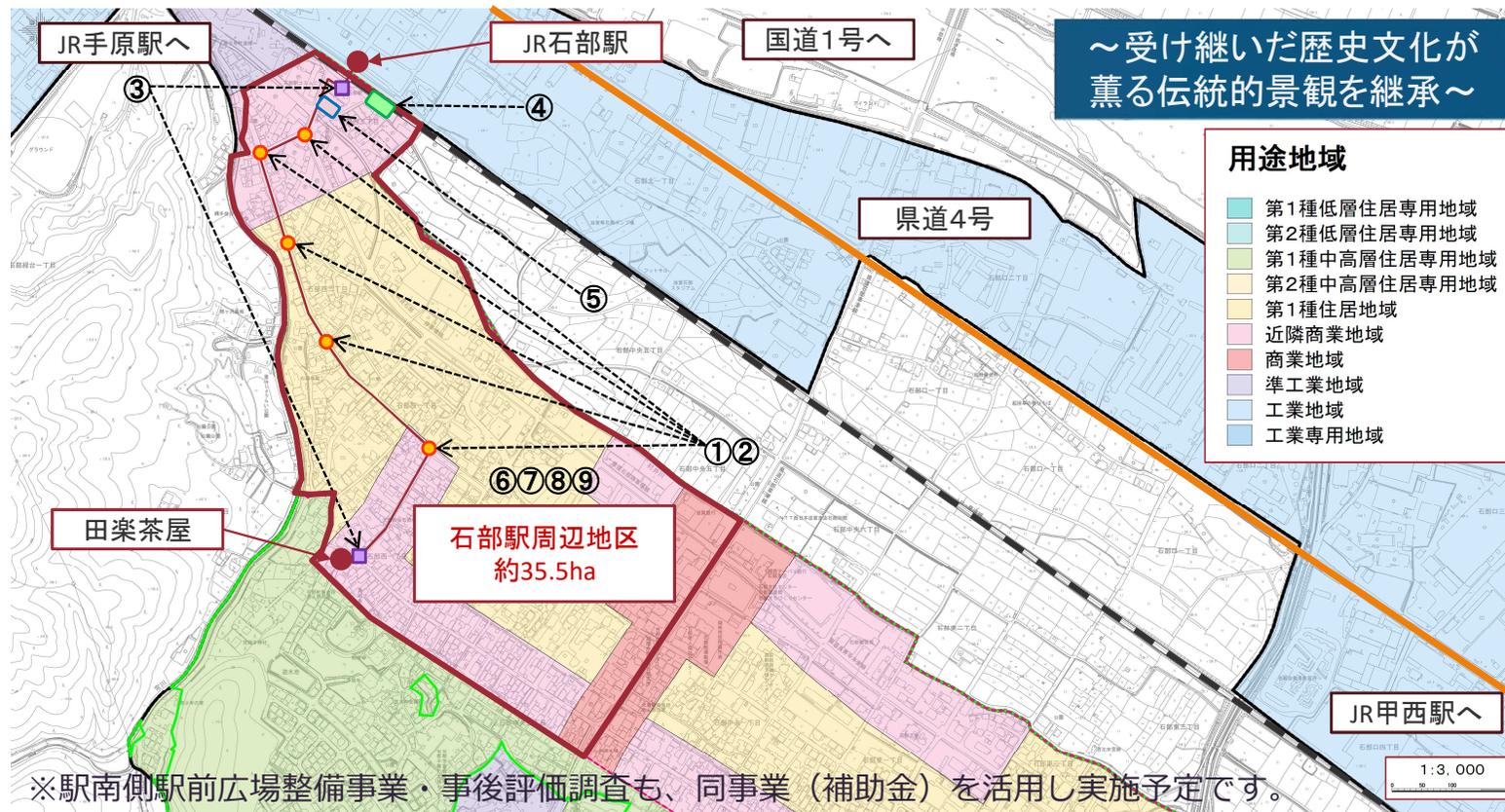
④歴史広場整備事業



⑤駐車場等整備事業



⑥⑦⑧⑨まちづくり形成団体支援事業



・本市は、平成28年3月に国道1号と接続する栗東湖南インターチェンジが整備される等、近畿圏における広域交通の要衝地であるが、石部駅周辺の都市基盤は不十分であり、生活基盤施設等も集積しておらず、求心性が高いとは言えない。また、既成市街地外縁部の工業地や高等学校にはビジネスパーソンや学生が多く行き来しているが、住宅地では居住者の高齢化が進んでいる。

・一方で、江戸時代には東海道51番目の宿場町(石部宿)となる等、中心市街地には「歴史的資源」が多く残されている他、外縁部の住宅地には糸賀一雄氏の創設した近江学園をはじめ多数の福祉施設があり「福祉のまち」の先進地でもある。

・こうしたことから、既成市街地の中心部の鉄道駅やバスターミナルを再編し、アクセスや安全性等の「公共交通の結節機能を強化」することにより、「公共サービス機能の維持」を図る。また、歴史的価値の高い旧東海道沿いのまちなみを「観光資源として活用」し、外縁部や郊外部からの「広域交流の促進」を図る。加えて、自家用車を使用しなくても日常生活に必要なサービスを受けられるよう、駅周辺のバリアフリー化やアクセスポイントへのデマンド化等の「公共・公益サービスとの連携強化」を相乗的に実施することにより、「都市機能の拡散防止」とやすらぎのある拠点づくりを進める。

